

ホタテガイ採苗速報

青森県

増養殖研究所
青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課

採苗器の準備を進めてください!

平成21年3月17日～19日に陸奥湾7地点で母貝調査(養殖2年貝の生殖巣指数調査)を、平成21年3月22日～25日に陸奥湾23定点で、第1回湾内一斉ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイラーバの出現数と大きさ

全湾におけるホタテガイラーバの出現数は図1、各地の出現数は表1、図2のとおりです。

西湾平均は1,886個/トン、東湾平均は4,545個/トン、全湾平均は3,042個/トンと、昨年(3月25日)調査時(西湾1,042個/トン、東湾408個/トン、全湾690個/トン)より多い出現数となっています。

200ミクロン以上のラーバの割合は全湾平均で19.3%、260ミクロン以上の割合は0.4%でした。

2 ホタテガイ母貝調査結果

今回の生殖巣指数は、西湾平均で13.1、東湾平均で17.5、全湾平均で15.6と、前回(西湾16.9、東湾22.1、全湾19.5)より減少し、東湾でも大規模な産卵がありました。

3 水温の状況

3月21日～25日の水温は、平館ブイで6.2～8.9、青森ブイで5.9～7.9、東湾ブイで4.8～5.4 でした。平年に比べると、平館ブイの1m～30m層でやや高め、底層で平年並み、青森ブイと東湾ブイの全層で平年並みでした。

4 ムラサキガイ等ラーバの出現状況

ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバは、西湾中央の1定点でそれぞれ88個/トン、363個/トンと、昨年同期(それぞれ13個/トン、75個/トン)より多く出現しています。

ヒトデのラーバは全湾平均で2.5個/トンと、昨年同期(0個/トン)より多い状況ですが、付着直前のブラキオラリアは見られませんでした。

5 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、久栗坂実験漁場では9日間で32個/袋となっています。

単位:個/袋

調査場所	水深	投入	引揚	日数	ホタテガイ	ムラサキガイ	キヌマトイガイ	ツツガガイ	ヒトデ	カサシ
久栗坂実験漁場	15	3/16	3/25	9	32	32	1,152	16	0	0

6 今後の見込み

全湾的に200ミクロン以上のラーバが高い割合となっていますので、第1回目の採苗器投入は、西湾では来週以降、東湾では4月中旬以降となる見込みです。

今後の情報に注意してください。

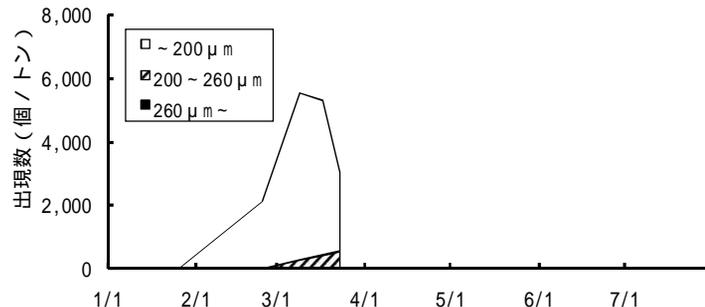


図1 全湾におけるホタテガイラーバ出現数

表1 地先別平均出現数

	全出現個数	200ミクロン以上		260ミクロン以上	
		個数	割合	個数	割合
平館	1,389	88	6.3%	0	0.0%
蟹田	482	19	3.9%	0	0.0%
蓬田村	782	100	12.8%	0	0.0%
後湯	1,036	310	29.9%	43	4.1%
奥内					
油川					
造道					
原別					
久栗坂					
土屋	1,589	163	10.3%	0	0.0%
茂浦	3,758	570	15.2%	20	0.5%
浦田	1,426	13	0.9%	13	0.9%
東田沢	7,164	1,188	16.6%	13	0.2%
小湊	1,993	7	0.3%	0	0.0%
清水川	1,078	19	1.8%	7	0.6%
野辺地町	9,268	2,564	27.7%	0	0.0%
横浜町					
むつ市	1,209	217	17.9%	9	0.7%
川内町					
脇野沢					
西湾中央	2,502	463	18.5%	63	2.5%
東湾中央					
西湾平均	1,886	291	15.4%	21	1.1%
東湾平均	4,545	970	21.3%	3	0.1%
全湾平均	3,042	586	19.3%	13	0.4%

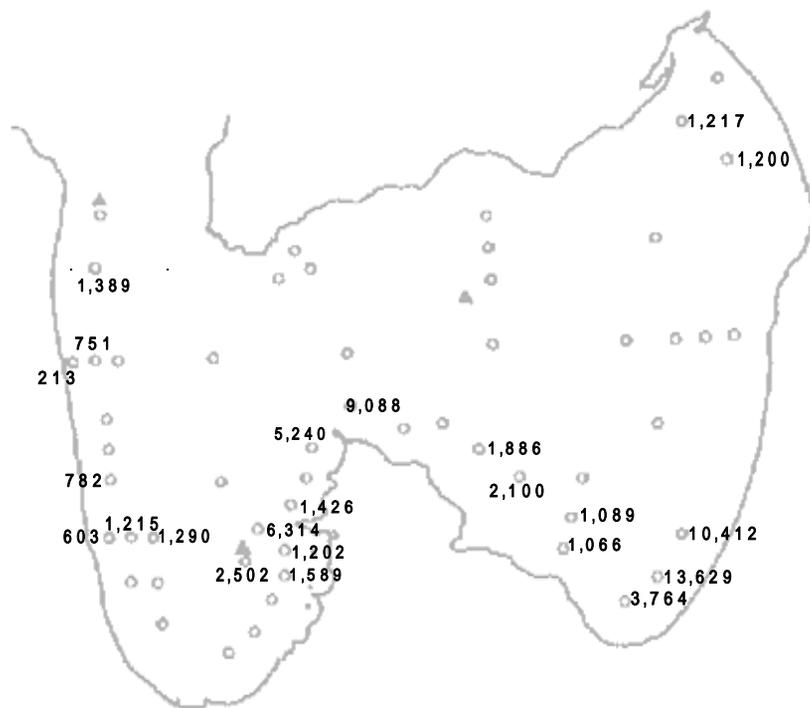


図2 調査地点毎の平均ラーバ出現数(個/トン)

発行元: 青森県水産総合研究センター 増養殖研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

ホームページURL: <http://www.net.pref.aomori.jp/zoshoku>

携帯電話URL: <http://www.net.pref.aomori.jp/zoshoku/mobile.info/mobile.top.html>

mobile.info/mobile.top.html



磨け! 海の技を! 漁業後継者育成研修『賓陽塾』
塾生募集中!! 詳しくは増養殖研究所 浅海環境部まで